

記載方法の説明（様式第2号）

【対応する主なSDGs】

項目ごとに対応する主なSDGsのゴールを記載しています。
記載のゴールはあくまで例示であり、すべてではありません。
※「具体的な取組」に記載した内容と「対応する主なSDGs」が異なる場合でも、項目欄(D列)の項目主題に沿った取組であれば問題ありません。

・各分類において1つ以上の「具体的な取組」をご記載ください。(※「具体的な取組」は「実施中のもの」または「今後1年以内に取り組む予定のもの」)

①【申請年月・事業者名】

◆「申請年月」は西暦で入力してください。

◆「事業者名」欄で文字が見切れてしまう場合はフォントサイズを調整してください。

申請年月

202●年●月

事業者名

株式会社●●●●



③【申請時点の実施状況】

◆記載する取組の実施状況についてプルダウンから「実施中」か「実施予定」を選択してください。
なお「実施予定」を選択する場合は、申請から1年以内に着手できる見込みの取組を記載してください。

◆原則として、申請時点の実施状況を入力した数と具体的な取組の数は一致するようにしてください。
(例:分類1で3項目の実施状況を示した場合は、具体的な取組も3項目分記載)

対応する
主なSDGs

申請時点
の実施状況

登録制度
への登録状況
北九州市 福岡市
未登録 登録済
記載省略可能項目

具体的な取組
(国、県、市町村の登録制度や認定制度があればその情報も御記載ください)

実施経過(登録1年後に記載)
実施中の取組内容
(未実施の場合は今後の方針)

②【政令市のSDGs登録制度への登録状況】

◆「北九州SDGs登録制度」または「福岡市Well-Being & SDGs登録制度」(マスター登録)に登録済みの方はプルダウンから選択してください。
すでに実施している取組として該当する項目に「○」印が入り、記載省略可能な分類として専用の文言が自動入力されます。
※例として「福岡市」を選択しています。

関連する既存制度に登録済(省略可)

④【具体的な取組】

◆同一分類内において複数の項目にまたがって包摂的に取組を記載することも可能です。
その際は、様々な方がご覧になる上で見やすくなるよう、下記のような表記をお勧めいたします。
<例>項目1-1と1-2について一文で示したもの

【1-1】・【1-2】(または【1-1、2】など)

・経営理念や経営目標と併せて、反社会的勢力の排除や不適正競争行為の防止など法令遵守に関わる社内規定や就業規則などを事業所に掲示している。

◆県HP掲載の『「具体的な取組」記載例(様式第2号)』を参考に、現在取り組んでいる(または1年以内に取り組む予定の)内容を、各分類において1つ以上記載してください。
※セル内での改行は「Alt + Enter」で行ってください。

◆政令市(北九州市または福岡市)のSDGs登録制度に登録がある場合は、「政令市のSDGs登録制度への登録状況」欄の各市の名称の1つ下のセル(F10又はG10)のプルダウンから「登録済」を選択することで、対象となる分類の取組欄下部に「関連する既存制度に登録済」の赤文字が自動入力されます。この場合は該当する分類は記載を省略することも可能ですが、できる限り具体的な取組を記載してください。
取組内容は県ホームページで公表しますので、PRIにつながる内容を記載してください。

◆国、県、市町村の登録制度や認定制度等のご登録があれば取組として記載いただくことが可能ですが、具体的な取組を記載せず「〇〇宣言・制度等に申請予定」のように、申請予定の制度等の名称のみを記載することは認められません。その申請に必要となる具体的な取組を併記してください。(下記例参照)
例:車両運転者にアルコールチェックを施しており「福岡県飲酒運転撲滅宣言企業」に申請予定である。
なお、登録済みの制度等について更新型である場合に、更新を失念され失効しているケースが散見されますので、登録済みの制度等が有効であるか確認の上記載してください。

【実施経過1年後】

◆こちらの列は登録から1年後の実施状況確認時に使用するものです。
初回申請時は入力不要です。

・持続可能な社会の実現に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供に取り組んでいる。

